

# 知的革新への転換を

のら「白書」を市長に提出  
専修大の  
教授  
専教

「川崎市白書」について阿部市長（右）に説明する平尾教授  
川崎市役所



川崎市に対して産業政策などについての提言を取りまとめている専修大経済学部の教授ら三人が六日、提言の中間報告となる「川崎市白書」を阿部孝夫市長に提出した。

白書は、川崎の経済構造や産業政策、臨海部の可能性など六章からな

ベーション（革新）への転換」を提案。また、米国の主要五十都市と経済競争力などを比較した場合、川崎市は十七番目に位置するとの研究成果も明らかにしている。

同大経済学部の平尾光司教授は「川崎の未来は日本の未来につながる。これまでの資産を生かし、創造的な都市を目指すべきだ」と話した。

同大は二〇〇四年度から五カ年計画で、文部科学省事業の一環として、川崎市の産業や都市基盤の在り方について政策提言をまとめている。

（斉藤 大起）